



西村社長

レースを纏う ファッション美を追求



LILY LACE INTERNATIONAL CO., LTD.

(代表者) 西村 政起
(住 所) 京都市上京区元誓願寺通大宮西入元妙蓮寺町547
(TEL) 075-441-0366
(URL) <http://www.lilylace.co.jp/>
(事業内容) 織維、レース生地の企画・販売

流行に左右されない
オリジナルのものづくり

ファッションの世界では、市場での流行を追い求めるあまり、似たような形や色、価格のものづくりが行われるようになってきている。「トレンドに軸足を置くのではなく、生地一つから製品までクリエティブに作り上げていくのが私たちの強み」と社長の西村政起さん。「まず、作ってみよう」という考えのもと、糸や染、織、縫製など全国に広がる協力工場とのネットワークを活かし、年間300点以上の試作品を開発。顧客であるアパレルメーカーやデザイナー、バイヤー等からFace to Faceで意見や評価を取り入れ、ブラッシュアップを繰り返していくことで、ほかにはないオリジナル商品の開発につなげている。

例えば、ヘンプ(麻)や美濃和紙を編み立てた環境にやさしいレース生地のほか、市場ではニッチなローゲージ(経編み)のメンズ向けレース、またレース素材に美容液を染み込ませたフェイスパックなど、将来の自社ブランドにつながるアイテムも数多く生まれている。

「トレンドを自分たちから発信したい」と西村さんは話す。

海外のニッチ市場に
目を向け
ターゲットに特化した
商品を提案

パリで開催されるブルミエール・ウィジョンなど海外の素材展に、15年以上前から積極的に出展している。国内では飽和状態にあるレース生地市場だが、様々な国のバイヤーと交流を深めるうち、「アフリカではお抱えの仕立て屋に服を作ってもらう文化があるなど、潜在的なニーズが埋もれていることに気づいた」という。

海外では国内のアパレル商品で使われないようなゴージャスな色や柄が好まれることも多く、同社ではこれまで培ってきた技術を活かし、特別な光沢加工やゴールドのラメを施した彩り豊かなレース生地を開発。ナイジェリアやウクライナのハイエンド層を中心に需要を広げている。グローバル市場を意識したものづくりに取り組むことで、海外向け商品は売上全体の35%を占める事業に成長した。



同社のレースのドレスを纏うナイジェリアの女性



グローバル市場に向けて海外の素材展に積極的に出展



環境にやさしい麻や和紙を素材に使ったレース

技術とネットワークを
転用したB to C向けの
新提案で顧客を拡大

コロナ禍はこれまでのビジネスの在り方を大きく変えた。「B to Bにとらわれず、B to Cにも目を向けた取り組みを始めている」と西村さん。昨年11月と今年7月には自社店舗で「レースフェスタ」を開催し、オリジナルのレース生地やアパレル商品に触れてもら

う機会を提供した。地域の女性客を中心に、多くの人が訪れたという。また、来年にはレース生地の様々な使い方の紹介や、Tシャツづくりが体験できるレース生地のミュージアムを社内オープンする予定で、「顧客のすそ野を150%に増やす取り組み」と西村さんは意欲を示す。

レース生地の可能性を追求して、独創的なファッションを発信し続ける「LILY LACE」世界を見据えた挑戦は続く。

解説!! 知恵のポイント

Point.1 作ってみよう精神の醸成

スタッフ一人ひとりの意見や要望を、新たなものづくりに生かせる仕組みづくり。お客様であるアパレルメーカーなどを交え、トライ＆エラーを繰り返すことで、世の中になかったオリジナルレースの提案へとつなげる。

Point.2 グローバル市場への展開

海外市場にいち早く目を向け、国際展示会などに積極的に出展。ターゲットとする国のファッション文化やライフスタイル、趣味・嗜好に合った商品開発を行うことで、ニッチでありながら独自の地位を確立する。

Point.3 試作を支える技術力

京都や滋賀、北陸などを中心に、全国100社以上の職人・工場との協力体制を構築。海外向けに特化した色柄はもちろん、B to C向けなど新たな商品展開においても、それぞれの得意分野を生かして対応が可能。

応援
します!

経営革新・知恵の経営に取り組む企業のご相談にお応えします。
【相談無料】TEL.075-341-9781
中小企業支援部 知恵産業推進課